



げんきに
なかよく
たくましく

茨城県立鹿島特別支援学校概要

茨城県の特別支援学校



区分	校数
国立	1校
市立	1校
県立	23校
計	25校
知的	19校

昭和54年 養護学校義務化に伴い設置

- 勝田養護学校鹿島分校として開校
- 小学部・中学部の2学部
- 児童生徒数 54名

令和6年度（令和6年5月1日現在）

- 小学部・中学部・高等部の3学部
- 児童生徒数 368名
 - 小学部 158名
 - 中学部 96名
 - 高等部 114名

児童生徒数 (地区別)

令和6年5月1日現在



	小学部						中学部			高等部			合計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	
鹿嶋市	12	7	8	7	9	12	9	10	7	2	12	5	100
潮来市	2	9	2	0	6	4	2	6	1	6	4	8	50
神栖市	7	7	14	2	8	10	12	10	17	12	24	11	134
行方市	3	0	2	3	3	4	4	1	3	3	5	5	36
鉾田市	5	2	5	2	2	1	4	4	6	5	7	5	48
合計	158						96			114			368

学校教育目標

児童生徒の自立と社会参加を目指し、一人一人のよさや教育的ニーズに応じた教育を推進し、心豊かに生きる力を育てる。

通学方法

スクールバス	14台	348名
①潮来②麻生③鉾田⑤玉造⑥旭 ⑦波崎⑧神栖⑩大洋鹿嶋⑪波崎神栖⑫神栖鹿嶋 ⑬第2神栖⑮潮来鹿嶋⑯第2神栖鹿嶋⑰行方潮来		
自力通学	学校まで自分の力で通学	0名
(自主通学)	バス停まで自分の力で通学	38名
保護者送迎		11名

令和5年度 スクールバス運行コース



小学部

- 児童一人一人のよさを大切にし、基礎的・基本的な知識、技能を習得するための指導の充実に努める。
- 道徳教育や体験的な活動を通して、豊かな心の育成に努める。
- 安心安全な学校生活を送るために学習環境を整備し、健やかな体を育む活動の充実を図る。
- 保護者及び関係機関との連携を積極的に図り、共通理解に基づく指導の充実を図る。



国語 算数

- 実態に応じて、グループ分けをし、実態に応じた内容で行っています。

小学部

1年生の 時間割

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	国語	算数	国語	算数	国語
3	体育	遊び	生活	体育	体育
4	音楽	自立活動		自立活動	図画工作
	日常生活の指導				
5	生活	生活	特別活動	音楽	道徳
	着替え・帰りの会				



きらきら集会



校外学習



ろく
鹿リンピック(小学部運動会)

中学部

- 「わかる」「できた」を実感できる、深い学びにつながる授業改善を図る。
- 安心安全な教育環境の整備と、自己有用感、自己肯定感が得られる系統性のあるキャリア教育の充実に努める。
- 自分の思いや、友達の考えを尊重できる道德教育の充実と、文化的、体育的な活動の充実に努める。
- 関係機関と連携・協働し、校内支援体制を整え、地域と共にある学校づくりを推進する。



作業学習

- 農園芸班、木工班、窯業班、手工班、紙工班、エコ班があります。

中学部

1年生の 時間割

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	保健体育	保健体育	保健体育	保健体育	特別活動
3	国語	数学	国語	数学	職業家庭
4	自立活動	社会	総合	理科	
	日常生活の指導				
5	音楽	作業学習	作業学習	美術	道徳
6					
	日常生活の指導				



音楽



社会見学(1年) 社会体験(2年)
職場体験(3年)

高等部

- 学年・学級で把握した実態に基づき、適切な類型（コース）やグループ編成による学習により、一人一人のニーズに応え、かつ主体的に学習に取り組めるよう指導に努める。
- 卒業後の社会生活を見据え、教科等横断的な指導を図り、個々の実態に応じたキャリア発達を図る。
- 健康な身体と豊かな情操を培い、自ら意欲的に活動に取り組める姿勢・態度を育成する。
- 地域社会と連携した活動をととして生徒の地域への所属意識を高めるとともに、地域の本校への理解を促進する。



【Ⅰ 類型(職業コース)】

■ 働くために必要な
知識・技能・態度の育成を
目指します。

職業

高等部

	月	火	水	木	金	
1	自活	保健体育				
		自立活動				
2	自活	職業	情報	職業	特活	
3	国語		音楽		職業	生単
4	数学					道徳
5	家庭	職業 総合	保体	国語	美術	
6				数学		
	自立活動					

【Ⅰ類型・職業コース】
2年生の時間割



作業学習

【Ⅱ類型(総合コース)】
【Ⅲ類型(生活コース)】



自立活動

【Ⅳ類型(自立活動コース)】

個に応じた指導

個別の教育支援計画と個別の指導計画

	個別の教育支援計画	個別の指導計画
概要	○乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を行うトータルな計画 ○本人・保護者のニーズに基づいて作成 ○関係機関（福祉、医療、労働等）の連携ツール	○一人一人の教育的ニーズに対応して指導の方法や内容の明確化を図るものであり、学校できめ細かな指導を行うための計画 ○本人・保護者の願いや実態に基づいて作成 ○校内の学習計画
内容	① 児童生徒等に関する情報 ② 支援歴 ③ 支援目標 ④ 関係機関・支援者 ⑤ プロフィール、合理的配慮	① 年間目標 ② 前期・後期目標 ③ 指導内容・方法・手だて ④ 結果 ⑤ 評価 ※前期・後期で評価し、1年で更新

将来の社会自立に向けた取り組み



ワークスデイ【中学部】



現場実習【高等部】

卒業後の進路状況

	卒業生数	一般就労 (障害者 雇用)	福祉施設				その他 (在家庭等)
			就労継続支援A型	就労移行支援	就労継続支援B型	生活介護	
令和3年度	33	6	1	11	5	6	4
令和4年度	41	9	7	6	10	7	2
令和5年度	32	8	6	4	6	6	2

相談支援センター

センター的機能

出向き相談

本校通学区域内の保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、高等学校からの要請を受けて、特別支援教育コーディネーター（巡回相談員）を派遣いたします。

相談は随時受け付けております。

■巡回相談

（特別支援教育専門家派遣を含む）

■研修会協力

■就学・進学や就労等に関する支援や情報提供



来校相談

発達が気になるお子さんについて、保護者・先生等の相談を行います。

■教育相談（随時）

学校概要の説明・授業参観を行い、本校の教育活動をご理解いただく機会を設けています。

■学校見学（随時）

■体験学習（9月～11月：小1～5、中1～2対象）

■学校見学会（6月）

■体験入学（6月、9月、10月：小学部就学予定者対象）

■中学部見学会（9月）

■中学部作業体験（10月：小6対象）

■高等部見学説明会（9月）

※詳細な期日はWebページをご覧ください。